

「青い鯉のぼりプロジェクト」ボランティアに参加してきました

5月8日土曜日、16名（1年生3名、2年生5名、3年生8名）が、東松島市で「青い鯉のぼり」の掲揚作業のお手伝いをしてきました。「青い鯉のぼりプロジェクト」にボランティアとして参加するのは全員が初めてで、きっかけは「ボランティア活動をやってみたいから」「青い鯉のぼりプロジェクトに興味があるから」「防災に興味があるから」など様々でした。

ロープに鯉のぼりをくりつけたり、鯉のぼりをつけたロープを引っ張ったり、なれない作業が多く、はじめは苦戦した人も多かったようです。しかし、プロジェクトのメンバーの方や参加していた地域の方にコツを教わり、協力しながら約700旒^{りゅう}の青い鯉のぼりを掲げることができました。掲揚作業や地域の方との交流など普段学校ではできない体験でした。



「青い鯉のぼりプロジェクト」とは…

東日本大震災で亡くなった子どもたちのために鯉のぼりを掲げる鎮魂のプロジェクト。提唱者である伊藤健人さんの弟の律くん（享年5歳）は青い鯉のぼりが大好きでした。全国各地から送られてきた青い鯉のぼりは毎年5月になると大曲浜を元気に泳いでいます。ちなみに、プロジェクトメンバーでアーティストのサムライアパートメントの kyo さんと climb さんは涌谷高校の卒業生です。

涌高
ふれあい隊
防災チーム



<参加した生徒のコメント>

- ・ 人の優しさ、協力する良さを改めて感じる事ができました。
- ・ ボランティア活動をすることで他の方々とのコミュニケーションがとれるし、ボランティアする方とボランティアされる側どちらも嬉しい気持ちになるなど感じました。
- ・ 「青い鯉のぼりプロジェクト」を通して色々な方々と交流する事が出来たし、皆さんと協力して取り組むことが出来てとても良い経験になりました。全ての鯉のぼりが上がった時、達成感と感動に包まれるようでした。これからももっとこういった活動に積極的に取り組んできたいと思います。
- ・ ボランティア活動をしている人達は、それぞれの考えや伝えたい気持ちがあって、少しでもその手伝いできたことが嬉しかったです。
(アンケートより一部抜粋)

大雨・土砂災害に備えを！

- ① ハザードマップ等で災害リスクを知る
(例:「涌谷町 ハザードマップ」で検索!)
- ② 避難場所・避難経路を事前に確認する
- ③ 非常時の持ち出し品を事前に準備する
- ④ 家族が離れているときの安全確認の方法を決めておく

涌谷町防災マップ



涌谷町土砂災害

警戒区域 ↓



防災意識調査ご協力ありがとうございました



6月上旬に防災意識に関する調査を行いました。ここでは2項目の結果を紹介します。

①「災害の対策について自分自身ももっとも当てはまるもの」

「対策の必要性を感じているが、特に行っていることはない」と回答した人が約54%でした。頭では分かっているけど、実際に対策は行えていないという人が多いようです。しかし、当たり前に行っていることも災害時には役立ちます。例えばモバイルバッテリーを持ち歩くことも対策の一つと言えます。災害発生時にスマホの充電が切れたら連絡を取りづらくなりますよね。

②「家族や身近な人と、災害が起きたらどうするかなどの話し合いを行ったことがあるか」

「ある」が約35%、「ない」が約65%でした。災害時の連絡手段や学校での講演会のことなど、何でもいいので話してみてください。その会話が大切な人の命を助けることにつながるかもしれません。

がんばなゆた 雁部那由多さん講演会 ～被災体験と高校生へのメッセージ～

6月7日月曜日、大学生で語り部の雁部さんの講演会がありました。雁部さんは『16歳の語り部』の著者でもあります(本は図書室にあります)。

講演では、「防災を切り口に自分・大切な人の命のことを考える」「自分が語ることで、次に災害が起きたとき、誰かの命が救われるかもしれない」「被災地は未災地に戻る」等ご自身の体験や研究を踏まえてお話ししていただきました。また、涌谷高校生へのお願いとして「1日1つ思い出を作っしてほしい」とおっしゃっていました。普段何気なく暮らしていると気づきませんが、「あたりまえ」は“あたりまえ”ではないのかもしれない。



<生徒のコメント>

●学んだこと・気づいたこと・感じたこと

- ・ 震災への価値観が変わった。今までは怖い記憶という認識しかしていなかったが、伝えることは人の命を救う価値があるということに気づいた。
- ・ 私たちより若い世代の人は震災を経験していないのでつらさや悲しさは分からないと思うが、未来のために少しでも伝えられるようにしていきたい。

●講演を受けて、今後災害が起きたとき・災害に備えて自分自身ができること

- ・ いつ自分がどうなるか分からないということを少しでも頭に入れて1日1日を大切に過ごす。
- ・ 震災を経験していない人たちのためにも、災害について一緒に考えていきたい。
- ・ 経験を次の世代の人に話して受け継ぐ。

(防災学習振り返りシートより一部抜粋)

春季防災訓練を行いました **防災訓練**



6月11日に地震を想定した防災訓練を実施しました。大きな地震の際は防火扉が閉まることを考慮し、避難経路の防火扉を閉めた状態で各教室から体育館への避難を行いました。

地震が起きた際は、①まず低く、②頭を守り、③動かない、の3つが大切です。また、授業中に地震が発生するとは限りません。近頃大きめの地震が続いています。「他人事」ではなく「自分事」として考えていきましょう。